論文リストチェック要領

確認作業を行って頂く論文チェックリスト（エクセルファイル）は、以下のURLからダウンロードできます。

https://www.cit.t.kyoto-u.ac.jp/ja/services/systems/re-db/db-syuusyuu/checklist-download

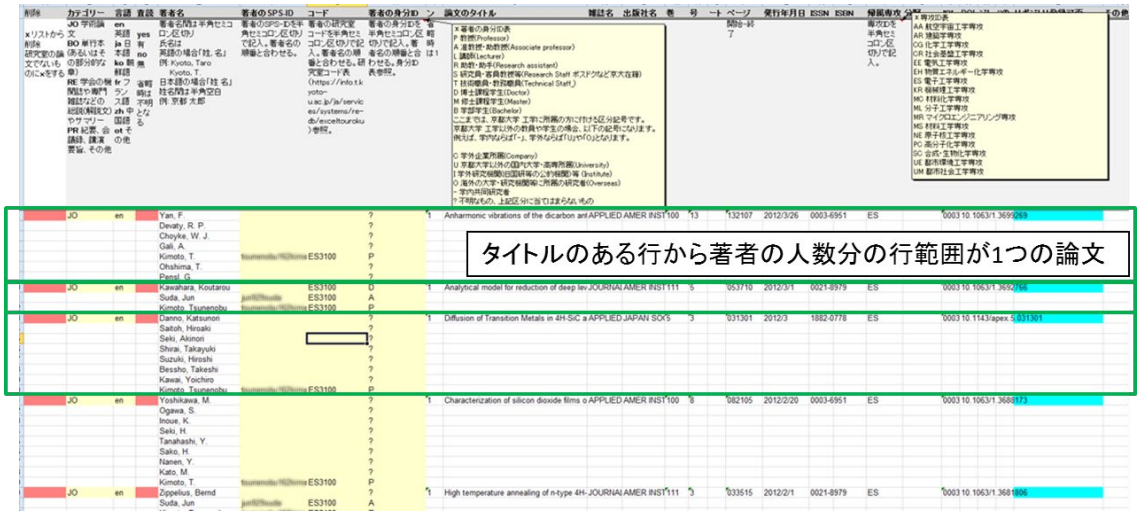
論文チェックリストにはWoSから抽出したリストとCiNiiから抽出したリストの2種類があります。論文チェックリストのファイル名は

「(研究室コード) a.xlsx」：WoSから抽出したリスト

「(研究室コード) Ja.xlsx」：CiNiiのから抽出したリスト

となっており、ご自身の研究室コードのファイル（上記2ファイル）をダウンロードお願いします。研究室コード表も同URLにてダウンロードできます。また、貴研究室コードのファイルが1つしか無い、または1つも無い場合は、検索により貴研究室の論文が見つからなかったことを示しておりますので、web上にファイルがある場合のみ修正作業をしていただければ良いです。もし、リスト以外に新規に登録すべき論文がある場合には、後述の「**リストに無い論文の追加について**」を参考に新規登録お願いします。

論文チェックリストは、下図のようなフォーマットになっており、シートは3つ有りますが、**Sheet2のみ確認・修正**お願いします。タイトルのある行から著者の人数分の行範囲が1つの論文となっており、その先頭行に論文の基本情報、各行の著者名の右にその著者の属性情報が並んでいます。



背景色の色分けは、以下のようになっております。

黄色のセル： 教員リストを利用して補完入力した項目であり、補完できなかった項目や補完のミスが存在します。よく確認の上、誤りがありましたら修正をお願いいたします。

赤色のセル： 自動的に補完できない項目であり、必ず記入していただく箇所となります。

白色のセル： WoSやCiNiiから抽出したデータそのものです。万一誤りがありましたら、修正をお願いいたします。

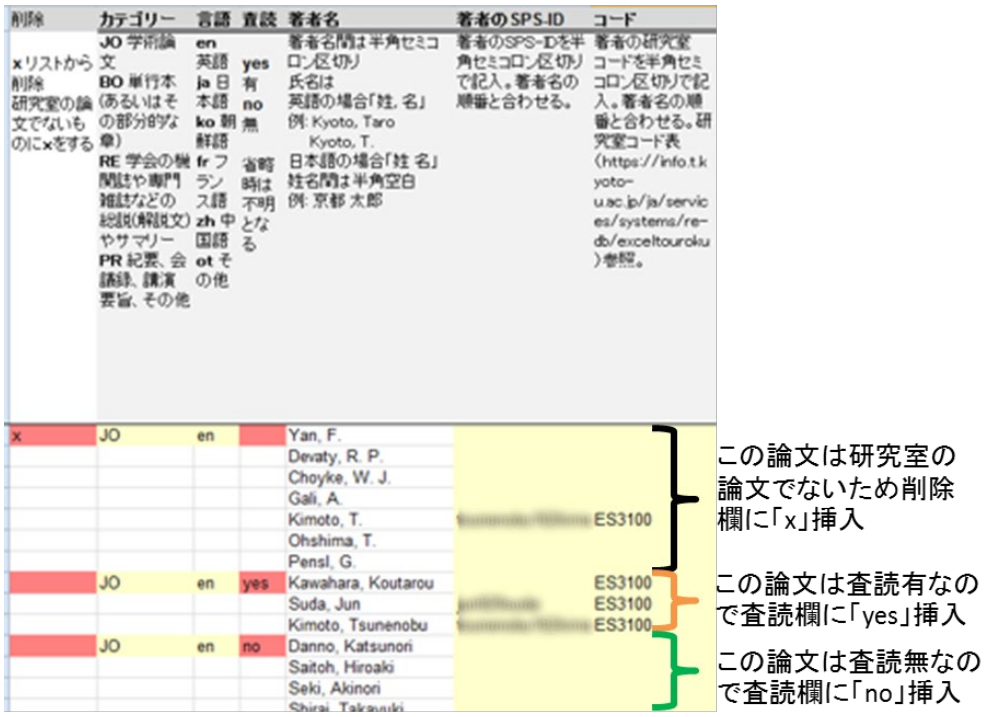
水色のセル： リポジトリの登録確認の欄ですが、記入不要です。

多くの場合、赤色部分を記入し、黄色部分を確認・修正していただくことでチェックは終了いたします。

赤色部分の記入

1. 研究室の論文でないもの（又は研究成果DBへの登録不要のもの）には、1列目に「x」を記入する。（要登録論文の場合には空欄のままとする。「x」をつけた論文は研究成果DBに登録されませんので以後の作業をする必要はありません。）
2. 4列目に査読の有無を記入する。（査読有なら"yes"、査読無なら"no"、有無が不明の場合は"-"または空欄のままとする）

例）



削除	カテゴリー	言語	査読	著者名	著者のSPS-ID	コード
xリストから削除 研究室の論文でないものにxをする	JO 学術論文 BO 単行本（あるいはその部分的な章） RE 学会の機関誌や専門雑誌などの総説(解説文)やサマリー PR 紀要、会議録、講演要旨、その他	en 英語 ja 日本語 ko 朝鮮語 fr フランス語 zh 中国語 ot その他	yes 有 no 無 省略時は不明となる	著者名間は半角セミコロン区切り 氏名は 英語の場合「姓, 名」 例: Kyoto, Taro Kyoto, T. 日本語の場合「姓 名」 姓名間は半角空白 例: 京都 太郎	著者のSPS-IDを半角セミコロン区切りで記入。著者名の順番と合わせる。	著者の研究室コードを半角セミコロン区切りで記入。著者名の順番と合わせる。研究室コード表（https://info.t.kyoto-u.ac.jp/ja/services/systems/re-db/excelteuroku）参照。
x	JO	en		Yan, F.		
				Devaty, R. P.		
				Choyke, W. J.		
				Gali, A.		
				Kimoto, T.	[redacted]	ES3100
				Ohshima, T.		
				Pensl, G.		
	JO	en	yes	Kawahara, Koutarou		ES3100
				Suda, Jun	[redacted]	ES3100
				Kimoto, Tsunenobu	[redacted]	ES3100
	JO	en	no	Danno, Katsunori		
				Saitoh, Hiroaki		
				Seki, Akinori		
				Shirai, Takayuki		

この論文は研究室の論文でないため削除欄に「x」挿入

この論文は査読有なので査読欄に「yes」挿入

この論文は査読無なので査読欄に「no」挿入

黄色部分の確認・修正

1. 次の表を参考に2列目のカテゴリが正しいか確認し、間違っていれば正しい記号に修正する。

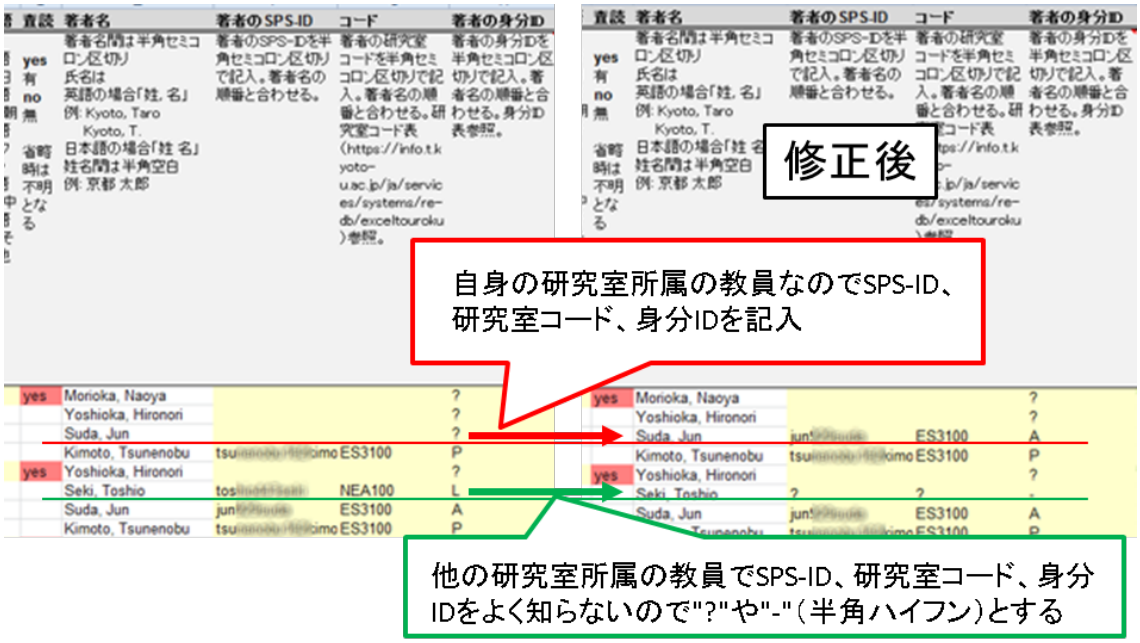
JO	学術論文
BO	単行本(あるいはその部分的な章)
RE	学会の機関紙や専門雑誌などの総説(解説文)やサマリー
PR	紀要、会議録、講演要旨、その他

2. 3列目の言語が正しいか確認し、間違っていれば正しい記号に修正する。
   en:英語、ja:日本語、ko:朝鮮語、fr:フランス語、zh:中国語、ot:その他
3. 6列目のSPS-IDが正しいか確認し、間違っていれば正しいSPS-IDに修正する。全学の「教育研究活動データベース」への一括入力の際にはこのSPS-IDが検索キーとなりますので、貴研究室所属でSPS-IDをお持ちの教職員・研究員のIDは確実に入力していただくようお願いします。他の研究室所属の方のIDが補完により入力されている場合、IDが正しいと分かっていればそのままで良いですが、IDが間違っている又は不明の場合は"-"又は"?"としてください。
4. 7列目の著者の研究室コードが正しいか確認し、間違っていれば正しいコードに修正する。研究室コードについては貴研究室所属の教職員・研究員・学生についてのみ記入が有れば十分です。他の所属の方のコードが補完により入力されている場合、コードが正しいと分かっていればそのままで良いですが、コードが間違っている又は不明の場合は"-"又は"?"としてください。
5. 次の表を参考に8列目の著者の身分IDが正しいか確認し、間違っていれば正しい身分IDに修正する。身分IDについては貴研究室所属の教職員・研究員・学生について記入し、学内の他研究室所属の方は"-"または"?"で良いです。学外の方については分かる範囲で記入が有れば十分です。身分IDは投稿した時点(もしくは研究成果が得られた時点) での身分を記入願います。(記入例については、後ろにある「著者身分記号の記入について」にて詳しく記載しております) 他の所属の方の身分IDが補完により入力されている場合、身分IDが正しいと分かっていればそのままで良いですが、身分IDが間違っている又は不明の場合は"-"又は"?"としてください。

著者身分ID表

P A L R S T	教授(Professor) 准教授・助教授(Associate professor) 講師(Junior associate professor) 助教・助手(Research assistant) 研究員・客員教授等(Research Staff ポスドクなど京大在籍) 技術職員・教務職員(Technical Staff)	自身の研究室(分野)所属の方に付ける区分記号です。 京都大学の教員や学生でも、研究室(分野)外の方なら学内共同研究者「-」となります。
D M B	博士課程学生(Doctor) 修士課程学生(Master) 学部学生(Bachelor)	
C U I O	学外企業所属(Company) 京都大学以外の国内大学・高専所属(University) 学外研究機関(旧国研等の公的機関)等 (Institute) 海外の大学・研究機関等に所属の研究者(Overseas)	
-	学内共同研究者	
?	不明なもの、上記区分に当てはまらないもの	

例）



<u>白色部分の確認・修正</u>

1. WoSやCiNiiから抽出したデータそのものですので、ほとんどの場合、修正する必要は無いはずですが、万一誤りがありましたら、修正をお願いいたします。その際、著者数の増減を伴うような修正がある場合には、行の挿入・削除を行っても構いません。ただし、全体のフォーマットが崩れないようにお願いいたします。

リストに無い論文の追加について（任意）

添付させていただいた論文リスト以外に、論文の追加をしたい場合には、以下の2つの方法があります。ただし、本論文リストは既登録論文との重複分を除いたリストとなっておりますので、リストに無い場合でも、既にデータベースに登録されていないかご確認を御願いいたします。研究成果DBのメインページ

http://www.t.kyoto-u.ac.jp/etc/re-db/

の「学術論文の検索」において、研究室名にて既登録の論文を検索・確認することができます。

また、万一、WoSやCiNiiに有るはずの論文が相当数漏れている場合には、ご相談ください。リストを再作成させていただきます。

1. **データベースに直接新規登録する方法**

   学術論文の新規登録と修正についてのweb上の記述、

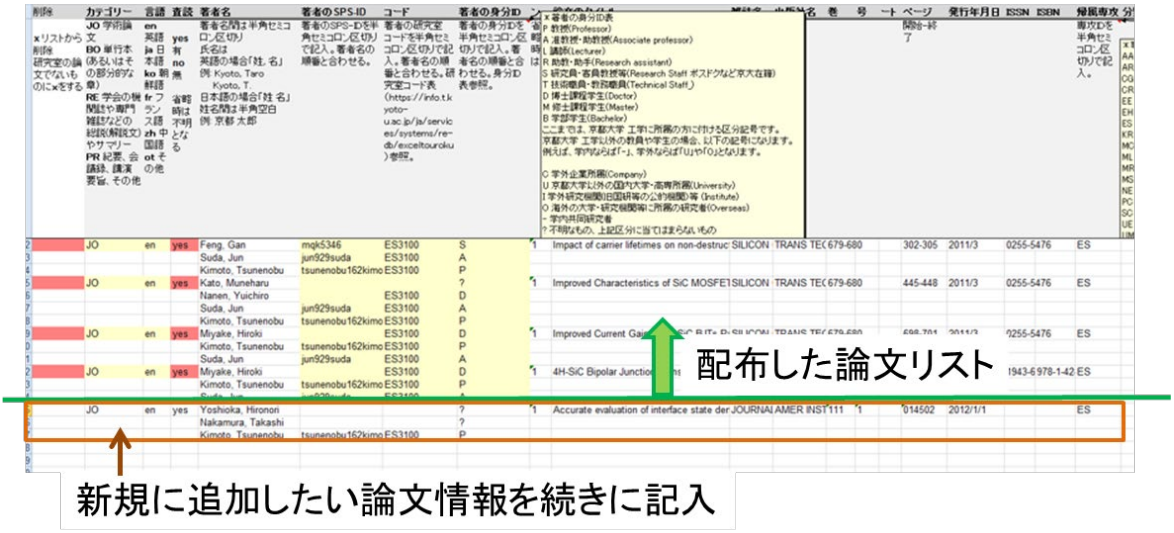
   https://www.cit.t.kyoto-u.ac.jp/ja/services/systems/re-db/addt

   を参考に新規登録を行う。

2. **今回配布したチェックリストの続きに新規追加論文を記載する方法**

   今回配布したチェックリスト(Sheet2)の続きに、チェックリストのフォーマットに従って追加論文情報を追記入することで、他の論文と同様に後日データベースに追加論文が登録されます。この場合、最低限、以下の項目は入力お願いします。

   カテゴリー、言語、査読、著者名、著者のSPS-ID、著者の研究室コード、著者の身分ID、論文のタイトル、雑誌名、ページ、発行年月



研究室の論文か否かのチェックについて

チェック用の論文リストは、2026 年の教員リストに基づいて、文献データベース“Web of Science” 及び″CiNii″を検索し作成しました。WoSにおける検索に際しては、

- 著者が教員の「姓＋名のイニシャル」
- 所属が“Kyoto Univ”
- 2025年1月以降に論文データがWeb of Science に登録された

以上3つを同時に満たす、という条件で行ないました。

CiNiiにおける検索に際しては、

- 著者が教員の漢字フルネーム
- 出版年が2024年以降

以上2つを同時に満たす、という条件で行ないました。

検索結果について、明らかに該当しない論文(フルネームが異なるなど) を除外するという作業を行ないましたが、完全ではありません。

例えば、

- 同姓かつ名のイニシャルが同じ(Yamada, T = 山田太郎、山田健)
- 他機関と京都大学の共同研究で他機関に同名同イニシャルの方がいる

という論文がリストに含まれている可能性があります。このような論文については、研究室における確認の際に、チェックリストの「削除」欄に″x″を入れてください。

なお、昨年の調査以降、いくつかの研究室からは追加論文データの提供をしていただきました。この分は既に研究成果データベースに反映されております。今回の調査では既登録論文との重複分を除いたリスト化に努めておりますが、重複判定から漏れてしまった論文がある可能性もあります。明らかに重複している論文と分かる場合には、チェックリストの「削除」欄に″x″を入れていただければ良いですが、不明な場合には確認の意味も含めまして再度通常のチェックをお願いいたします。

著者身分記号の記入について

投稿した時点(もしくは研究成果が得られた時点) での身分を記入願います。

例えば、

- 卒業論文の結果を卒業後にまとめて論文にした: “B”
- 卒業論文の結果を元に修士で追加実験をして論文にした: “M”
- 修士論文の結果を卒業後にまとめて論文にした(論文の所属は京都大学) : “M”
- 修士論文の結果を論文にした(出版時は博士): “M”
- 博士論文の結果を論文にした(出版時は助教) : “D”

となります。どのように判断するかはいろいろなケースがあるので厳格ではありません。これらのデータは、外部評価などで学生がファーストオーサーの論文数などを集計するときにも使用いたします。

記入例(著者身分記号は、前述の著者身分ID表を参照してください)

次表のような研究グループがあったとします。この場合、記入例1～4 に挙げた論文では[ ] の中にど

の記号が入るのかを例示しましたので、著者身分記号記入の参考になさってください。

研究室	共同研究先 (国内の他大学)	共同研究先 (学内の他研究室)	共同研究先 (分類が難しい機関)
Yamada, A (修士課程学生) Hashimoto, B (博士課程学生) Suzuki, B (博士課程学生) Miyamoto, C (助教) Yamamoto, C (教授)	Tanaka, D (博士課程学生) Kawasaki, E (教授)	Imai, P (博士課程学生) Maeda, Q (教授)	Ueda, Z

記入例1

著者　Yamada, A [M] / Hashimoto, B [D] / Suzuki, B [D] / Miyamoto, C [R] / Yamamoto, C [P]

■コメント　5名の著者が、表示順で、「修士、博士、博士、助教、教授」であった場合です。

記入例2

著者　Yamada, A [M] / Hashimoto, B [D] / Yamamoto, C [P] / Tanaka, D [U] / Kawasaki, E [U]

■コメント 他大学の場合は学生か教員かの区別は不要です。単に“U”で構いません。

記入例3

著者　Yamada, A [M] / Hashimoto, B [D] / Yamamoto, C [P] / Imai, P [-] / Maeda, Q [-]

■コメント 学内の共同研究先については、“-”または″?″を記入願います。学内の共同研究相手が工学研究科内であればそちらの研究室のリストでも調査結果が戻ってきますので、そちらの結果とマージされて、データベースに格納されます。

記入例4

著者 Yamada, A [M] / Hashimoto, B [D] / Ueda, Z [?] / Yamamoto, T [P]

■コメント 著者1名に対して必ず記号が一つ必要ですので、数日中に調べるのが困難などで分類の判断をしかねる場合は、取り敢えず“?”を記入してください。

チェック済リストの提出方法

提出期限: 2026(令和 8)年 9月 18日(金)

提出先:　wos@t.kyoto-u.ac.jp 情報センター論文DB収集担当宛

チェック済みのリスト(通常はエクセルファイル2つ)を添付してメールにて送付ください。メールの表題には研究室コードを先頭に記入ください。

研究室コード表はhttps://www.cit.t.kyoto-u.ac.jp/ja/services/systems/re-db/db-syuusyuu/
からダウンロード可能です。

また、メール本文には貴研究室の担当者名、内線番号、メールアドレスが分かるように記載していただくようお願いします。情報センターから、チェックリストについて問い合わせをさせていただく場合があります。

もし、長期の出張などで期限に間に合わないときは、下記問い合わせ先に連絡お願いします。

問い合わせ先

工学研究科附属情報センター　論文DB担当

wos@t.kyoto-u.ac.jp

今回の調査のついての Q and A

Q: 何のために行うのでしょうか？
A: 昨年度の調査から約 1 年が経過しており、最新の論文データを追加する必要があります。また、本 DB をもとに京都大学学術情報リポジトリへの登録が行われます。さらには外部評価や COE 報告書等への活用も行われます。

Q: 全学の研究活動 DB への一括入力はされますか？
A:研究成果データベース(以下、工学 DB)から全学の教育研究活動 DB への論文データ一括入力は、希望する工学教職員分の論文データについて、半年に 1 度の頻度で実施しております。各教員に対して一括入力の希望の有無を調査した後の実施となります。また、一括入力とは別に、工学 DB から Researchmap への CSV ファイルを用いたデータ転送を各自にて実施して頂くこともできます。詳しくは、https://www.cit.t.kyoto-u.ac.jp/ja/services/systems/re-db/zengaku をご参照ください。

Q:リポジトリへの論文登録に関する確認は無いのでしょうか？
A:2015 年まで行っていた「京都大学学術情報リポジトリへの論文登録に関する確認書」への記載は、本年はありません。また、チェックリストのリポジトリ登録可否欄への入力も不要です。京都大学学術情報リポジトリへの論文登録については、
http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/content0/13092 をご参照ください。

Q: 既に退職、異動した教員の論文がリストにありますが、これは削除するのでしょうか？
A: 当該研究室の成果であれば、もちろんリストに残しておいて下さい。著者の区分は当時の職位を記入下さい。例えば、現在名誉教授で論文投稿時に教授であれば、著者区分は、“P” となります。投稿時に他機関の所属であれば(名誉教授であっても)、U,I 等としてください。

Q: 異動した教員の成果が抜けているようですが。
A: 今回の調査では本年中に在籍していた教員を対象にしていますので、昨年以前に在籍していた教員の成果が抜けている可能性があります。昨年発表の論文が相当数抜けているようでしたら、ご相談下さい。リストを作り直させて頂きます。

Q: 学外から異動してきた者ですが、前任機関での論文はどのようにしたらよいでしょうか？
A: 京都大学工学研究科の成果一覧の基礎データを作成するのが今回の主目的ですので、京都大学の所属で書かれた論文のみを検索対象としてリストは作成されております。しかし、本 DB に他大学や他機関に在職中の論文を入力していただくことは可能です。ただし、登録する際の身分は当時の身分を入力ください。（例えば、当時の身分が国内の他大学であれば「京都大学以外の国内大学所属」を選択）その上でその論文の著者の研究室コードは全ての著者について削除（空白として）ください。

Q: タイトルや著者名に誤字を見つけたのですが
A: 今回のチェックリスト作成には、WoS や CiNii からダウンロードしたデータを直接利用しており、人手で内容は操作しておりません。WoS や CiNii 自体のデータが誤っていると思われます。申し訳ありませんが、リストを正しいデータに修正お願いします。

Q: 組織の改組があり、研究室の名称が変わったのですが。
A: 当時の研究室(分野) と現在の研究室が 1 対 1 に対応している場合(名称のみ変更の場合) には、同一の研究室としてリストの確認をお願いします。複数の研究室が統合したり、派生・分離している場合には、個別にご相談ください。

Q: 研究室分野表に誤りを見つけたのですが。
A: 研究室分野表の分野名などに誤りがある場合は、正しい名称等を情報センターにご連絡ください。修正させていただきます。

Q: in press や accept の状態の論文の登録はできますか？
A: 本データベースではページ番号若しくはそれに替わる論文 ID の確定した論文について収録を行っており、in press や accept 状態の論文は対象外としております。